

2023年4月26日

報道関係各位

GMO メイクショップ株式会社

「makeshop byGMO」アプリストアの PoC 開発パートナーに
フィードフォース・REGALI が参画！
～マーケティング支援サービス展開の両社と協力し、
アプリプラットフォーム構想を本格始動～

GMO インターネットグループの GMO メイクショップ株式会社（代表取締役社長 CEO：向畑 憲良、以下、GMO メイクショップ）が運営する EC サイト構築 SaaS「makeshop byGMO」（URL：<https://www.makeshop.jp/>）において、2023年8月に開始予定のアプリストア提供に向けた PoC（※1）開発パートナーとして、株式会社フィードフォース（代表取締役：塚田 耕司、以下、フィードフォース）と、株式会社 REGALI（代表取締役：稲田 光一郎、以下、REGALI）の参画が決定いたしました。

EC サイトの売上獲得に貢献するマーケティング支援サービスを展開し、アプリの開発実績を有する両社の協力を得ることで、EC サイト運営に役立つアプリを提供できる環境を構築してまいります。

GMO メイクショップは、アプリ開発のための技術サポートや開発環境の整備を進行するなど、アプリプラットフォーム構想を本格始動しアプリストアの提供を予定しています。

（※1）Proof of Concept の略。新しい取り組みの実現可能性を探る概念実証のこと。



【参画の背景】

昨今 EC 市場は急成長を遂げ、2021年の物販系分野の BtoC-EC 市場規模は 13 兆 2,865 億円（※2）で、前年比 8.61%の増加となりました。GMO メイクショップの「makeshop byGMO」においては、2022年の流通額が市場の成長を上回る前年比 11%増の成長となり、3,055 億円に到達いたしました。

GMO メイクショップでは、市場の急成長に伴う環境変化や、多様化する顧客ニーズに柔軟かつスピーディーに対応するため、「makeshop byGMO」のシステムをフルリニューアルする『次世代 EC 開発プロジェクト』（URL：https://www.makeshop.jp/main/lp/next_ec/）を 2020年に始動し、その一環として、アプリプラットフォーム構想を立ち上げました。

フィードフォースは、データフィード、構造化データ、ID 連携といったテクノロジーを駆使したマーケティング支援サービスを展開し、一方 REGALI は、動画・UGC・スタッフ投稿などあらゆるコンテンツを EC サイトへ連携する顧客体験向上プラットフォーム「LEEEP」を展開しています。両社は、広告やコンテンツの活用により EC 事業の成長を加速させるサービスを提供していること、また、これまでも EC 事業者向けアプリの開発実績を有していることから、GMO メイクショップは、PoC 開発パートナーとしての参画を依頼いたしました。

開発技術と熱意のある両社の協力を得ながら、フィードバックを反映することで、より良いアプリストアの構築に向け取り組んでまいります。

(※2) 経済産業省 商務情報政策局 情報経済課「令和3年度 電子商取引に関する報告書」

<https://www.meti.go.jp/press/2022/08/20220812005/20220812005-h.pdf>

■フィードフォースのコメント (URL : <https://www.feedforce.jp/>)

フィードフォースは、マーケティングサービスを展開しています。以前より「makeshop byGMO」と連携し広告施策の支援を行っていましたが、GMO メイクショップが進めるアプリプラットフォーム構想のビジョンに共感し、PoC 開発を共同で行うこととなりました。

弊社は、この PoC 開発において、コマース分野における知見と技術力を最大限に発揮し、「makeshop byGMO」を導入されていらっしゃる企業様のビジネス拡大に貢献できるよう取り組んでまいります。今後も、より一層の協力関係を築きながら、お客様にとって価値のあるサービスの提供に邁進してまいります。

本件に関しまして、何かご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。



■REGALI のコメント (URL : <https://regali.co.jp/>)

EC 市場は年々拡大しており、消費者はオンライン上で商品を選び、購入する機会が増えています。その中で、EC サイト上で商品情報をリッチ化し、より良い購入体験を提供できることが、消費者に選ばれ続け、成長し続ける EC サイトになるために重要になってくると考えています。

こうした背景から、購入の後押しになるような情報=コンテンツを、より簡単に増やしていけるよう「LEEEP」の機能や使い勝手をアップデートする中で、GMO メイクショップのアプリプラットフォーム構想のビジョンに共感し、この度、パートナーとしての参画を決定いたしました。

今後は「makeshop byGMO」のご利用者様が、アプリを使ってより簡単に EC 強化を行っていただけるよう、連携強化を進めていければと考えております。



【今後のアプリプラットフォーム構想について】

GMO メイクショップは、2023 年 8 月のアプリストア提供開始を目指し、技術サポートの設置や開発環境の整備を行うなど、アプリプラットフォーム構想を本格始動いたしました。

2023 年 3 月からは、開発者専用サイト『makeshop Developers』を限定公開し、アプリ開発パートナーの募集を開始いたしました。すでに 20 社以上の事業者様からご応募いただいております。今後は、CRM (Customer Relationship Management) や MA (Marketing Automation)、WEB 接客、レコメンドなど、EC サイトの売上成長をサポートするアプリの拡充に向け、開発パートナー様の募集を強化していきます。

■ アプリ開発パートナーの募集について

URL : <https://www.makeshop.co.jp/news/press/2023-03-27/>

【GMO メイクショップについて】

GMO メイクショップは、「Commerce for a better future./商取引でより良い未来に」をミッションに掲げ、プラットフォーム事業とシステムインテグレーション事業を展開しています。プラットフォーム事業では、EC 構築支援から、EC マーケティング支援、EC 運用受託まで対応し、また、運営資金調達のための補助金・助成金の申請支援や、EC の売上を最短即日で入金する『即日売上入金サービス』提供によるキャッシュフロー改善支援など、EC 領域における一気通貫の支援体制を整えております。

中核サービスである EC サイト構築 SaaS「makeshop byGMO」は、2022 年には年間流通額が 3,055 億円に達し、11 年連続で業界 No.1^(※3) を獲得しました。主軸となる『プレミアムプラン』の導入店舗数は、2022 年 12 月末時点で 11,000 店以上となっています。

今後も GMO メイクショップは、広範な EC 領域において、店舗様が抱える様々な課題を解決できるよう、サービスの強化を図り、国内の EC 市場の活性化に貢献してまいります。

(※3) EC サイト構築サービス運営企業各社の発表数値より、SaaS 型の数値を比較 (自社調べ 2023 年 3 月時点)

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO メイクショップ株式会社
事業推進部 広報担当 戸恒
TEL : 03-5728-6227 E-mail : pr@ml.makeshop.jp
- GMO インターネットグループ株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当 川縁
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO メイクショップ株式会社
パートナー窓口
TEL : 03-5728-6316
E-mail : mstp@makeshop.jp

【GMO メイクショップ株式会社】 (URL : <https://www.makeshop.co.jp/>)

会社名	GMO メイクショップ株式会社
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 CEO 向畑 憲良
事業内容	■プラットフォーム事業 (EC 構築支援・EC マーケティング支援・EC 運用受託) ■システムインテグレーション事業
資本金	5,000 万円

【GMO インターネットグループ株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会社名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資本金	50 億円